

女性からのひとこと

日栄地質測量設計（株）本社技術部 地質調査課
高羽 瑞栄



1. はじめに

日栄地質測量設計株式会社の高羽瑞栄です。今年の4月に入社しました。

学生時代は福島大学で地質学の研究室に所属し、卒業研究は『磐梯山南麓に分布する砂川層の地質学的研究に基づく堆積環境と湖水位の変化』の一環で猪苗代地域のフィールド調査を行いました。



写真1 猪苗代町から見た磐梯山

2. フィールド調査から学んだこと

フィールド調査は基本的に1人で行っていましたが、磐梯山付近はクマの目撃情報だけでなく被害情報も多々あったので、熊鈴を持ち歩くなどの対策をしていました。しかし、クマに遭遇したらどうしようと、いつもびくびくしながら調査していたことがとても思い出に残っています。現地を調査している時も、おじさんから「この辺はクマが出るから気を付けろよー」と声を掛けられたこともありましたが、ところが実際には熊鈴の効果もあってか、半年間のフィールド調査でクマを見かけたことは1度もありませんでした。ただ、野生のカモシカや大きなハチの巣を見ることができ自然豊かな地域だなと感じました。

また調査中に、現地の方から優しく声

を掛けていただけたりと、大きな声であいさつをしてくれた小学生がいたり、温かい人が多いなと思いました。

3. 入社のきっかけと入社後のとまどい

大学3年の3月から就職活動を行いましたが、大学で学んだ地質学やフィールド調査の経験を活かせる仕事をしたい、また地元であるいわき市内で就職したいという思いから弊社に入社しました。大学時代は主に第四紀の地層や火山灰を見ていたのですが、入社してからは第三紀の露頭やボーリングコアを見ることが多くとても新鮮でした。しかし、卒業研究でとてもお世話になったATテフラという火山灰があるのですが、いわきではまだ見つけられていないので（そもそもいわきに分布しているか分らないですが）、現場に行ったときは探してみたいと思います。

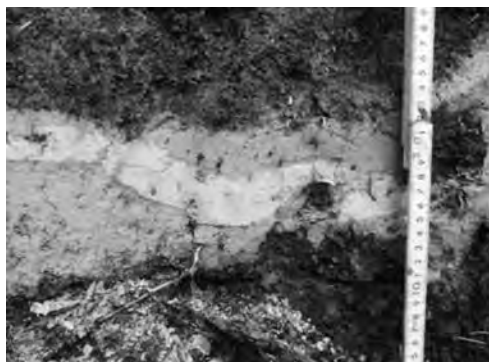


写真2 猪苗代地域に分布するATテフラ

入社してから約8か月が経ちようやく仕事や会社に慣れてきましたが、入社した頃は言葉遣い、メールの作り方、電話対応、パソコンのソフトなどに苦戦していました。今でも電話対応は苦手ですが、4月の頃は1人の時に電話が鳴るとどう

.....

していいか分からず、走って他の方を呼びに行き対応して頂いていました。

パソコンのソフトに関しては、ほとんどが名前も聞いたことがなく、初めて使うものでした。特にCADが一番難しく、単純な重力式擁壁を作成するのにも半日程度かかってしまい、その時は手描きのほうが早いと感じました。しかし、柱状図はソフトを使ったほうが早くきれいに作成できると感じました。卒業論文作成時は手書きで柱状図やスケッチをしており、絵心がないのでスコリアを描いたつもりが先生には「これは爆弾か？」と、混乱させてしまったこともありました。

まだまだCADも使いこなせていないので、CADも含め今後いろんなソフトを使いこなせるようになりたいと思います。

4. いわき市の紹介

ここで私の地元であるいわき市の紹介をしたいと思います。いわきのいい所はたくさんあるのですが、その中でも特に私が好きなところ3つを紹介したいと思います。

1つ目は、夏は涼しく冬は暖かい気候です。冬でも最低気温が0℃を下回ることはあまりないので、雪も1年に1、2回程しか降りません。

2つ目は、アクアマリンふくしま（水族館）があるところです。今年のGWに、10年ぶりぐらいに行きましたが、魚を見るだけでなく、触ったり釣ったりすることもできます。また、ガラス張りの展望台もあり、小名浜港の景色を楽しむことができます。

3つ目は、石炭・化石館「ほるる」です。

大学3年生の時に初めて行きましたが、中に入るとすぐに巨大なナマケモノが出迎えてくれます。他にも、岩石の標本や炭鉱に関する資料もあるのでいわきの歴史について勉強したい方にお勧めです。



写真3 巨大なナマケモノ(エレモテリウム)

5. おわりに

今回、『女性からのひとこと』の執筆にあたり、文章を書くのが苦手なので読みにくいところもあったかもしれませんが、貴重な体験ができたことに感謝申し上げます。